

# 表彰状

主演 快樂亭ブラック殿

貴殿を人間「黒宝」と称してここに表彰いたします。

落語家の業ゴウ



# 「黒宝」

ドキュメンタリー



「映画館で観よ——

拍手喝采と大爆笑が証明した一本」

KINENOTEメンバーよりの抜粋

※ドキュメンタリー映画の金字塔  
「この感覚は何かなどと思ったら、『ゆきゆきて、神軍』を観た時と同じような感じがしました」ゲストトークより抜粋

東京・大阪・名古屋にて

大ヒット御礼

「全ての出来事を、笑い飛ばす了見を  
〈粹〉と言う」 快楽亭ブラック



写真撮影：武藤奈緒美  
写真協力：渋谷らくこ

## コンプライアンスの超越者

「落語とは、人間の業の肯定である」との名言を残す、落語界のカリスマ・立川談志の弟子であり、その言葉を体現するかのような破滅的な生活と過激な落語で、メディアへの露出が限定的な中、長年の間、根強い人気を誇る落語家・快楽亭ブラック。  
コンプライアンスが厳しい現代、もはや二度と現れない最後の芸人らしい芸人であり、全ての出来事を笑い飛ばすその了見は、息苦しい現代を生きる術でもある。本作は、そんな生ける伝説・快楽亭ブラックの〈業〉に迫るドキュメンタリー映画である。

## 映画館の闇が産んだ、落語界の怪物。

米兵と日本人女性の混血児として生まれたブラックは、差別から逃れる為、幼少期から殆どの時間を映画館の闇で過ごす…

## ※ディスク化&サブスク化未定の笑撃作!

監督もコロナ禍に落語の生配信を手伝った事により、その内容を弟子に咎められて快楽亭ブラックの共犯者として裁判に訴えられながら、六年半の歳月を費やして完成された渾身作。十年前、二十年前の快楽亭ブラックの膨大な映像提供も受けた事により、稀代の芸人の一代記が誕生した。

落語家の業

出演：快楽亭ブラック 立川談之助 鈴々舎馬るこ げんきいいぞう 大本營八俣 語り：坂本頼光 映像提供：九龍ジョー 鈴々舎馬るこ  
撮影・編集・監督：榎園喬介 製作：合同会社 bluebird siblings 協賛：お且・杉社社長 茶道宗和流・宇田川宗光 六楽院梅里・林田賢太郎 有限会社アイブライト 協力：東京かわら版

生ける伝説・快楽亭ブラックの落語&トークショー決定!

7/11 (土) 13:00 より 上映後：落語一席、監督も交えたトークショー  
終演後：サイン・撮影会 特別興行料金：前売 3500 円/当日 4000 円

2026年 7月 11日 (土) より

〈横浜〉シネマノヴェチェントにて

「黒宝」ロードショー



シネマノヴェチェント

横浜市西区中央 2-1-8 岩崎ビル 2F 045-548-8712